

栄 さかえ小 ニュースレター

つくばFCによるサッカー教室

2月26日(水)・27日(木)の2日間に分けて、つくばFCの指導者をゲストティーチャーに招いてのサッカー教室を実施しました。各学年1時間ずつの活動でしたが、毎年、この時間を心待ちにしている子供たちもたくさんおり、当日は熱心に活動し、サッカーの楽しさを存分に味わいました。

低学年では、初めてサッカーボールを扱う児童も多いため、ドリブルやパスの基本練習を中心に行いました。友達同士でパスをし合ったり、二人で手をつなぎお互いに声を掛け合いながらドリブルをしたりし、ボールに慣れ親しむことができました。

中学年では、パスやシュートの練習を通して、コミュニケーションの大切さを体験しました。友達と声を掛け合いながらプレーする姿が印象的でした。

高学年では、基本練習に加え、試合形式の練習も行いました。コーチから人数の指示が出ると、子供たちは積極的にゴールを目指してボールを追いかけ、ゴールを決めると大きな歓声が上がりました。相手を意識した動きや、仲間との連携の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

2日間のサッカー教室を通して、技術の向上だけでなく、協力することや挑戦する楽しさを味わうことができました。今後も運動を楽しむ気持ちを大切にしていきたいと思います。



6年生を送る会

2月28日(金)の3・4時間目に、体育館にて「6年生を送る会」を行いました。この会は、継志式を間近に控えた6年生へ感謝の気持ちを伝え、思い出に残る時間を過ごしてもらうために、在校生が心を込めて準備したものです。

会の前半では、各学年が趣向を凝らしたゲームを用意し、6年生と対決しました。1年生は「ジャンケン列車」、2年生は「玉入れ」、3年生は「ボール運びリレー」、4年生は「綱引き」、5年生は「ラケット走」に挑戦しました。どの競技も大いに盛り上がり、体育館には笑い声や応援の音が響き渡りました。6年生の子供たちは、在校生と一緒に体を動かしながら、楽しいひとときを過ごしていました。

続いて、在校生から6年生へ感謝の気持ちを込めた合唱のプレゼントがありました。全校児童で「ひまわりの約束」を歌い、会場は温かい雰囲気になりました。その後、6年生からも代表児童によるお礼の言葉と合唱「旅立ちの日に」が披露され、在校生への感謝の気持ちが伝えられました。お互いの思いが響き合い、感動的な時間となりました。

会の終盤には、在校生から6年生へ贈り物がありました。3年生は手作りのメダルを一人一人にかけ、5年生はチューリップの花をプレゼントしました。受け取った6年生の表情には、喜びと感謝の気持ちがあふれていました。

6年生にとって、この会は小学校生活の最後に心温まる思い出となったことでしょう。在校生も、6年生への感謝と憧れの気持ちを再確認する貴重な機会となりました。継志式までの残りわずかな時間を、6年生には仲間とともに大切に過ごしてほしいと思います。

